

## 学会長表彰について (案)

~~【シンポジスト】~~

- ~~・学会実地開催当日、学会長から感謝状を贈呈する。~~
- ~~・贈呈は、シンポジウム終了後に会場において行い、併せて記念品も贈呈する。~~

## 【一般演題優秀演題発表者】

## ア 職種ごとの優秀演題候補の推薦 (10月中旬を目途) →10月14日〆切

- 一定数以上の発表がある職種は、当該職種団体で、応募の少ない職種は適宜グルーピングを行い、それぞれのグループごとに優秀演題候補の推薦をしていただく事務局が必要に応じて関係学術委員の意見を聞きながら順位付けを行う。(※)。
- 評価方法、推薦手順等については、次回の学術委員会でご検討いただく。

※各職種の演題数に応じて、優秀演題候補数を設定。(概ね合計で10~15演題程度になるよう調整。)

現時点では、一般演題数及び職種が不明のため、一般演題募集終了後に該当される団体の委員に書面でお送りし調整させていただくことを考えております。

## イ 優秀演題審査 (10月下旬を目途) →10月21日〆切

- 推薦のあった演題について、学術委員(県病協会役員)において審査し、その中から4~5.3演題程度(概ね10演題に1演題程度)を優秀演題として決定する。

## ウ 表彰及び発表

- 11月2日(水)に、学会長より表彰状と記念品を贈呈し、受賞者のコメント発表を行う。(欠席者へは、後日、送付する。)
- 県病院協会ホームページに公表し、改めて10日間程度、優秀演題としてWEB配信する。

## 第 41 回神奈川県病院学会 一般演題優秀演題の審査方法について

- 1 各職種団体選出の学術委員において、職種別の優秀演題候補として推薦された演題の中から、県病院協会役員（学術委員 7 名）が、以下 I～III の項目について評価を行う。

【 I 】 演題の調査、研究、報告の目的は明確か。

- A・・・適切かつ分かりやすく表現されている
- B・・・概ね、表現されている
- C・・・分かりにくい

【 II 】 演題の調査、研究、報告の内容は客観的に伝わるか。

- A・・・目的、方法、結果、考察の内容が分かりやすい
- B・・・ // 内容が一部分かりにくい
- C・・・ // 内容が分かりにくい

【 III 】 研究内容（報告内容）が、知識の向上、あるいは実用上、学術上有用な情報であるか。

- A・・・有用性が高い
- B・・・有用性が、ある程度高い
- C・・・有用性は、それほど高くないと思われる

※A = 3 点、B = 1 点、C = 0 点

- 2 評価点数を踏まえて、各学術委員が、「優秀演題として認めるもの（◎）を 2 演題以内、「可能であれば優秀演題として推薦したいもの（○）」を 1 演題以内で選考する。
- 3 各学術委員の審査結果（「◎」「○」）を集計したうえで、学術委員長が優秀演題を決定する。